

1. 背景・目的

- ・台風25号によりJR内房線と県道287号が同時に被災し、JR内房線の運休が長期化(3ヶ月程度)
- ・代行バス輸送の混雑や経路となる国道16号の渋滞が大きな課題
- ・両駅にシェアサイクルポートを設置し、代行バス輸送を補完するとともに災害時の自転車活用の可能性を実証・検討

2. 実施期間 令和8年10月14日(水)6時から当面の間(JR内房線運休期間中)

3. 設置台数 14日に130台(姉ヶ崎ポート20台、長浦ポート110台)で開始、16日より300台に拡大(両駅合計)

4. 概要

- 姉ヶ崎駅、長浦駅周辺にポートを設定し、想定ルート間の移動を推奨。
- シェアサイクル利用は、姉ヶ崎・長浦間に限定し、利用は無料。
(ただし12時間超の場合、12時間ごとに2,500円の料金が加算。)
- 利用にはハローサイクリングアプリによる事前登録・予約が必要。
- ポート間移動は国道16号自転車歩行者道を想定ルートと設定(注意喚起看板を設置)。
- 交通ルールの遵守、ヘルメット装着を啓発。(現地貸出あり)

5. 実施 千葉県、千葉国道事務所、JR東日本、袖ヶ浦市、市原市 協力 OpenStreet(株)、シナネンモビリティPLUS(株)

想定ルート 約6.5km

国道16号経由/自転車 約30分*

シェアサイクル



- 凡例
- : サイクルステーション
 - : 上り想定ルート
 - ← : 下り想定ルート

長浦駅側 ポートアクセス図



姉ヶ崎駅側 ポートアクセス図

